

演題28	演題名 [魅力ある里山ナース [®] 院内認定制度について]
	発表者 宮腰 結衣 (岐阜県 国民健康保険飛騨市民病院) 共同研究者 看護師 中野 亜李紗、荒家 千夏、岩崎 美幸 理学療法士 洞口 拓也、谷口 康敬、巢之内 大輔 病院事務 豊坂 梨緒、佐藤 直樹 (岐阜県 国民健康保険飛騨市民病院 人材育成プロジェクトチーム(JIP))

はじめに



- ・当院は成人から高齢者を対象とし、急性期から慢性期、在宅復帰と幅広い看護を行なっている
- ・令和元年より人材育成プロジェクトチームを中心に院内独自の教育制度「**里山ナース[®]院内認定制度**」を導入した

※「里山ナース」は飛騨市民病院の商標登録【登録第6552507号】です

当院の患者層は成人から高齢者で、急性期から慢性期、在宅復帰と幅広い看護を行なっている地域密着型の病院である。そのため当院では令和元年度より人材育成プロジェクトチーム(以下 JIP) 中心に院内独自の看護師教育制度「里山ナース[®]院内認定制度」を導入した。(「里山ナース」は飛騨市民病院の商標登録【登録第 6552507 号】です)

目的

クリニカルラダー¹⁾にプラスし、地域特性を活かした幅広い分野を自律的に楽しんで学べるプログラムを作成

里山ナース[®]院内認定制度の定義

「救急から急性期看護、慢性期看護～地域医療・見取り期まで見据えたいのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護の提供～」

1)JNAラダーを活用し、自施設用に作成したもの

里山ナース[®]院内認定制度の定義は「救急から急性期看護・慢性期看護～地域医療・見取り期まで見据えたいのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護の提供～」である。

目的は、JNA ラダーを活用し自施設用に作成したクリニカルラダーにプラスし里山ナースの定義に基づいた看護の提供のための幅広い分野を自律的に楽しんでスタッフが学べるプログラムを作成することとした。

方法-1 段階目SUPER(1st)-



スタッフが親しみやすく幅広い分野が学べるプログラム

1. ICLS研修受講
2. ELNEC-J研修受講
3. 高原郷ケアネット参加(1回)
4. 院内医療安全研修会参加
5. 院内感染研修会参加



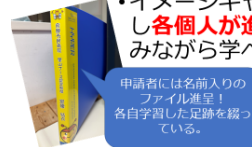
方法として、まず1段階目 SUPER(1st)の目的を「救急から急性期間後、慢性期看護～看取り期の理解ができる」とした。プログラム内容は院内で元々行っている研修等を活用し、スタッフが親しみやすく幅広い分野が1年間で学べる工夫をした。

方法-2 段階目HYPER(2nd)①-

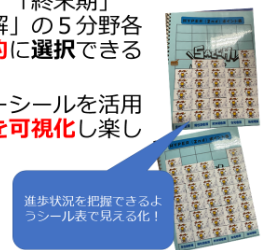


・「急性期」「慢性期」「終末期」「在宅期」「地域理解」の5分野各3点以上取得を**自律的に選択**できる仕組み

・イメージキャラクターシールを活用し**各個人が進行状況を可視化**し楽しみながら学べる工夫



申請者には名前入りのファイル進呈！各自学習した足跡を綴っている。



進捗状況を把握できるようシール表で見える化！

2段階目 HYPER(2nd)の目的は「地域の特性を理解し、SUPER で得た知識を基に更に幅広い看護の提供ができる」とした。申請から3年間で「急性期」「慢性期」「終末期」「在宅期」「地域理解」の5分野各3点以上取得を自律的に選択できる仕組みとした。ポイントについては研修会受講や資格獲得で取得できるようにした。

また、プログラムを進める上で申請者へは各自学習した内容を綴れるよう段階毎に名前入りのファイルを進呈した。また、イメージキャラクターシールを活用し各個人が進行状況を可視化し楽しみながら学べる仕組みとした。

以上から、修了者の取得状況からは5分野3点を満遍なく受講しただけではなく、個々の得意分野を率先して自律的に学習している結果となった。

方法-2段階目HYPER(2nd)②-



- 研修受講や資格取得のサポートができる **助成金制度導入**
- 年度末には申請者のポイント取得状況を確認し、ポイント取得できるような院内研修会の開催や院外研修会の案内等を行なった

—里山会議開催—
地域や病院について考える場を企画



地域の現場に合わせた、理学療法士からの勉強会(訪問リハビリ)等開催

結論



里山ナース院内認定制度は地域特性を活かして幅広い分野を自律的に楽しんで学べるプログラムである

里山ナース院内認定制度は地域特性を活かして幅広い分野を自律的に楽しんで学べるプログラムであることが明らかとなった。今後も魅力のあるプログラム内容の発展が必要である。

他にも研修受講や資格取得のサポートができる助成金制度も導入された。年度末には申請者のポイント取得状況を確認し、ポイント取得率が低い分野ではポイント取得できるように院内研修会の開催や院外研修会の案内等を行なった。



HYP(2nd)取得状況

令和3年度にHYP(2nd)7名修了

	急性期	慢性期	終末期	在宅期	地域理解	合計
A	3	3.5	3	4	9.5	23
B	5.5	4.5	7.5	4.5	8.5	30.5
C	6	6	4	3	3	22
D	3.5	7	3	3.5	7.5	24.5
E	3	4	4.5	4.5	5	21
F	4	4	3.5	6	4	21.5
G	4.5	4	3.5	3	4.5	19.5

*ポイント取得から個々の得意分野がはっきりと見えてきた

里山ナース[®]院内認定制度開始から3年後の令和3年度にはHYP(2nd)7名が修了した。修了者取得状況からは5分野3点を満遍なく受講しただけではなく、個々の得意分野がこの表からはっきりと見えてきた。

結果

修了者取得状況からは5分野3点を満遍なく受講しただけではなく、個々の得意分野を率先して自律的に学習している結果となった



山中和紙を使用したオリジナルの認定書
達成段階に応じたバッジを授与

+G
HYP(2nd)修了者には記念品として
オリジナルスラブ授与